

## 南部地区小学校の適正配置に係る説明会 会議録

1. 日 時：令和5年6月27日(火) 開会：午後7時30分／閉会：午後8時25分
2. 会 場：睦合小学校 体育館
3. 参加者：乳幼児保護者1名、保育所・幼稚園保護者7名、小学校保護者18名（幼保重複4名）、一般町民2名 計28名
4. 事務局：教育委員 山本純司委員、望月聡美委員  
教育長 入月一巳教育長  
学校教育課 若林将基課長、稲葉啓介主幹、岩田茂樹副主査、  
山口淑乃主事補
5. 次第
  - ① 開会 (司会) 稲葉主幹のあいさつにより開会
  - ② あいさつ 入月教育長からあいさつ
  - ③ 教育委員及び職員紹介
  - ④ 南部町立小学校適正規模に関する具申書の南部地区小学校の適正配置に関する具体的方策案について  
ア 具体的方策案の説明  
当日配布した、南部町立小学校適正配置に関する具申書の南部地区小学校の適正配置に関する具体的方策案説明資料に基づき、若林学校教育課長が説明する。  
説明事項は、経過、本町児童数の推移、小学校の規模、具申書の内容、具申書の作成に係る基本的な考え方、今後の予定等。説明時間は概ね30分間。
  - ⑤ 質疑応答及び意見交換  
追加説明  
ア 富河小学校と万沢小学校の統合と同様に、睦合小学校と栄小学校の統合も、対等、平等な統合を行うこととなります。各学校が閉校し、新たな学校が開校することとなります。両校が取り組んできた優れた教育活動を共有し、教育課程の編成を実施していくこととなります。  
イ 以前から、睦合小学校保護者からの要望として、通学が長距離になる地区からスク

ールバスを運行してほしいとの要望があることを承知しています。今後、保護者、学校及び教育委員会で協議していくこととなります。スクールバス運行に関しては、通学距離、対象地区、通学路の状況（市街地か山道か等）、登校班の編成、放課後児童保育の利用状況、町営バスを利用検討等、あらゆる面を総合的に検討していかなければならないと考えています。教育委員会では、ご意見をいただきながら前向きに検討していきます。

質問：先ほど説明にあった、通学について聞きたいが、富沢小ではどのように運行しているか。万沢地区はどこかに集合して乗車していくのか、状況を教えてほしい。

回答：万沢地区に関しては、33人乗りバスで26人が乗車し、万沢郵便局前と旧万沢中学校前の2カ所にバス停を設けています。バス停までは児童が歩いてきます。また、陵草地区の3人は別便を運行しています。楮根地区は5人いますが、登校はスクールバス、下校は町営循環バスを利用しています。向田・御堂地域の児童5人及び徳間・皐月地域の児童5人は、町の循環バスを利用し登下校しています。徒歩通学の児童につきましては文京、中央、天王地区となります。

栄小は、現在、井出・十島地区の児童6人がスクールバスで登下校しています。仮に、栄小校区の児童が陸合に通学する場合は、児童数や運行ルートによりバスの台数を決めることとなります。また、バス停は、踏切の横断の安全性を検証し、設置場所を協議していきます。スクールバス運行に関しては狭い道は通れないので、バス停は基本的に町営循環バスのルート上に設置することとなります。陸合地区で運行する場合においても同様です。

質問：栄小学校の保護者から反対意見が出ていると聞いている。私は陸合小1年生の保護者だが栄小は1年生が3人しかいないため統合には賛成であるが、どのような反対意見が出ているのか教えてほしい。

回答：6月22日に、栄小の保護者向けに行われた説明会では、反対意見、否定的な意見はありませんでした。4月以降これまでも、学校教育課にはそういった意見は寄せられていません。しかしながら、保護者の皆様の立場からすると、今まで通っていた学校とは違う学校に通うことになるため、児童の心理的不安や学校が災害時の対応等心配されることもあると思います。教育委員会では、児童や保護者を対象に教育相談体制を充実させるなどして、それらの解消に努めていきます。

なお、学級の児童数が少ないと、男女のバランスにも偏りが見られることもあり、適正配置を図る要因にもなります。

質問：統廃合の時期について、富沢小が1年前倒しで令和2年度からになったとの説明がありました。陸合小と栄小の時期は、現段階で令和8年度となっていますが、1年

前倒しに可能性はあるのか。また、富沢小が1年前倒しになった経緯等を教えてほしい。

回答：睦合小と栄小の統廃合は令和8年度を目標にしており、期間が3年間あります。予定としては、令和5年度には、教育委員会の考え方を保護者、地域住民の皆さんにご理解いただいて合意形成を図ります。令和6年度～7年度には、新小学校準備委員会を設立し、校名や校歌などの制定を行うとともに、両校が取り組んできた優れた教育活動を共有し、新しい教育課程を編成するなど統合に必要なことを協議し決めていきます。また、使用する学校施設については、改修に係る設計及び工事を行う予定で、これらの実施期間は2年間で要する見込みです。以上のことから、今後順調に進めても、令和8年4月1日が最短となります。資料の2ページで富沢小学校の開校の経緯を説明させていただきましたが、富沢小の場合は、平成28年度から準備期間を5年間と見込んでいましたが、合意形成などが順調に進み、4年間で準備することができ、1年早い令和2年度に開校しました。

#### 6.その他

特になし

#### 7.閉会

司会による

以上